

事務局便り

第112号（令和6年12月）

【英霊に敬意を！日本に誇りを！】

近畿偕行会

巻頭言

今期は、特攻勇士慰霊祭を中心に会務を実施しました。また各地にて慰霊行事が行われ、可能なものには会員代表が参加させて頂きました。

政界も総裁選挙に続く総選挙に於いて、予想通り自民党の大敗となりましたが、何とか「悪夢」の再来を防げたことは幸いでした。これも日本国民の良き？バランス感覚でしょうか？

米国ではトランプ氏が大統領に再選、世界情勢は、わが日本はどうなって行くのでしょうか・・・

さて、年齢と共に時の経つのがこの他速く感じられ、今年も早や師走を迎え、会員各位におかれましては、そろそろ新春を迎える準備を始められる頃かと拝察いたします。

ロシアのウクライナ侵攻、加えてイスラエルとハマスの紛争、また中共の狂気による脅威等国難下ではありますが、来る令和7年が皆様にとり、明るい良き年になりますようご祈念申し上げます。

（加賀本）

案内事項

令和7年1月理事会案内

令和6年度第3回理事会は、1月18日（土）

15：00から大阪護国神社において、開催します。

万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内申し上げます。

理事の方には後日改めて参加の確認をさせていただきます。

担当 熊谷

Tel. : 078-952-3063 携帯 : 090-3844-3296

Mail : dfqk007@kcc.zaq.ne.jp

令和6度会費納入のお願い

会費は、近畿偕行会を維持し、活動を円滑かつ効果的に運営するための軍資金です。

本年度会費未納の方は、当会の財政的窮乏をご明察の上、108号に同封しておりました「近畿偕行会（00900-6-29358）用「払込取扱票」にて、メール連絡会員の方は、**近畿偕行会（00900-6-29358）**宛に、振込みの程、宜しくお願い致します。

担当 加賀本

会員増勢のお願い

ご遺族・戦友が亡くなられて行く中、戦没英霊慰霊の灯を消してはなりません。国のため命を捧げた英霊に対する感謝を忘れ、祖国への誇りを持っていない国民、その国は亡びると言います。

令和3年度末で、会員数は120名を割り込みました。

「英霊に敬意を！日本に誇りを！」をモットーとする崇高な使命を有する近畿偕行会を潰してはなりません。何としても盛り上げねばなりません。解決策は、一に、会員の増勢を図る他ありません。◎帝国陸軍関係会員の皆様には、ご子弟、お孫さんを家族会員に！！

◎自衛隊OB会員の皆様には、同期生・後輩を正会員に！！子弟を家族会員に！！

◎本会の趣旨に共鳴する、身近にいる、志ある草莽の士を発掘し、賛助会員に！！

ご協力を衷心よりお願い致します。情報を頂ければ、事務局で対応いたします。

担当 加賀本

報告事項

第16回特攻勇士慰霊祭

10月26日（土）10：30から第16回特攻勇士慰霊祭を大阪護国神社に於いて厳かに執り行いました。

慰霊祭に先立ち、回天顕彰会会員の河合正雄氏

(全国ソロモン会関西支部長支部長)のご尽力により、大阪出身の人間魚雷「回天」戦没御英霊4名の方々を合祀させて頂き、合祀者は532柱となりました。



祭礼状況

当日は曇り空なれど、暑くもなく寒くもなく絶好の状況下での祭礼となりました。

折からの選挙で、残念ながら政治家先生方の出席者は無かったものの、「特攻隊戦没者慰霊顕彰会」から原島淳子評議員はじめ、国防を考える会等関係団体・理事・近畿偕行会会員有志等多くの方のご出席を頂き、盛大に実施する事が出来ました。

また、ご英霊に対し誠に申し訳ない事でしたが、例年実施していた中部方面音楽隊による慰霊演奏は、NHK報道の余波を受け、中止をせざるを得なくなりました。戦没英霊慰霊に際し、自衛隊が支援できないとは、納得いかない限りです。

これも憲法を改正し、国軍にしない限り解決できない事でしょう。

その代わり、参列者全員で「ふるさと・愛国行進曲・海ゆかば」を声高らかに合唱し、感謝の気持ちを捧げました。参加できなかった方々の思い入れも込めて盛大な慰霊行事が出来たことと感謝申し上げます。

その後、好評の「英霊と語り飲むバーベキュー」(直会)は、国防を考える会の全面的支援を得て、隣接の住之江公園で実施しました。

特攻勇士達を偲びつつ、御霊と共に参加者の心を

一にする有意義なものであったと思料します。その他、会場の準備・撤収作業・受付業務に於いても「国防を考える会」の皆様にも多大のご支援を頂き感謝申し上げます。

また、ご参加できなかった方々からも多くの志納金を賜り心より御礼申し上げます。

担当 加賀本・熊谷 (写真提供：岸岡サトミ様)

会外行事参加報告・紹介案内

参加報告

陸上自衛隊中部方面隊創隊64周年記念行事

陸上自衛隊中部方面隊の創隊64周年記念行事が10月6日伊丹駐屯地で実施されました。

折からの陸上自衛隊演習参加と、能登半島豪雨災害派遣中でもあり、観閲式のための縮小実施となりました。仕方のない事とは云え、駐屯地の一般開放もなく一抹の寂しさを感じました。

しかし、当日の天候は、秋雨続く合間の暑さ厳しき日本晴れに恵まれ、招待参加者は、少数精鋭の各部隊隊員の姿に大満足の態でした。



観閲官(総監)に栄誉礼

また、祝賀会食も「昼食会」として酒ぬきでの実施となりました。

本会及び特攻勇士顕彰会から、会長・事務局長・理事の10名が参加しました。

なお、熊谷事務局長が総監表彰を受けました。

担当 加賀本

第30回全国戦没学徒追悼祭

10月21日（月）11時から南淡路市阿万大見山山頂「若人の広場公園」に於いて、第30回全国戦没学徒追悼祭が催行されました。

不順続きの天気の中、30回目の節目を寿ぐかのように、抜ける様な秋晴れとなり、紺碧の空にトンビが舞う中、「若人の広場」に、陸海自衛隊高官初め、例年にも増す400名を超える多くの志ある人々の万感溢れる想いを秘めて、厳かに執り行われました。



紺碧の空の下の追悼祭会場

30回を記念して、靖国神社仕女による神楽奉奏「みたま慰めの二人舞」が奉納されました。ご英霊の心も少しは和まれたのではないかと思料しました。



神楽奉奏「みたま慰めの二人舞」

全国の戦没学徒は「学徒」だけに、殆ど子孫がい

ませんから供養も追悼もされず忘れられてしまい
そんな昨今です。家族や故郷や國のため等、多くの
思いを抱いて日本の指導者として未来を担うは
ずのエリート学生達がペンを銃に持ち替え戦い、
戦死されました。

その心中や如何に・・・

国民のより多くが「永遠に忘れじ！！」の想いを
持ち、今後もご英霊に対する感謝と慰霊を忘れて
はならない、現代の若者に2度と同じ思いをさせ
ない様に努力すべきとの思いを深くした次第です
担当 加賀本

全国ソロモン会関西支部慰霊祭

11月9日（土）大阪護国神社に於いて全国ソロ
モン会関西支部（支部長：河合正雄氏）慰霊祭が
実施されました。

大東亜戦争中、ガダルカナル島初め激戦のソロモ
ン諸島方面で戦没されたご英霊に対し、慰霊と感
謝の誠を捧げました。



参列者一同

因みに」同会は、ビスマーク・ソロモン諸島方面
の戦域に従軍した陸軍17軍、海軍第8艦隊隷下部
隊の生存者、遺族、そして有志によって構成され
ている戦友会です。昭和40年10月24日（昭和
17年同日にガダルカナル島ルンガ飛行場奪回のた
め日本軍が第2次総攻撃を敢行した日）に設立さ
れました。

現在靖国神社初め各地における慰霊祭、現地にお
ける国際交流や慰霊巡拝、遺骨調査・収容活動へ

の協力活動を行っている、当会と志を同じくする友好団体です。

参列者は河合正雄関西支部長以下32名で当会から熊谷事務局長、岸岡サトミ理事が参加しました。式典に先立ち、本殿の一角にて写真により同会の活動状況が展示されていたので、数年前に東部ニューギニアの戦場を訪ねたことを思い出しながら閲覧しました。

また、直会ではJYMA（日本青年遺骨収集団。日本中から志を持った大学生が集まり、国内外で先の大戦で散華されたご英霊の遺骨を収集する活動団体）による沖縄の戦場における遺骨収集活動報告があり、我々と心を共にする若い力が力強く活動してくれていることを知り、頼もしく感じた次第です。特定非営利活動法人JYMA（当初は青年遺骨収集協力隊と称す）が昭和42年から活動していることを初めて知りました。如何に世間に疎いかということを改めて感じました。

担当 熊谷（写真提供：岸岡サトミ様）

紹介案内

今期はありません。

和歌山偕行会便り

11月8日（金）「政治家・政策評価の指標は？」有権者の意識の高さ＝選挙結果もありますが、最も端的なのは、その国の株価です。有権者は、実情や事実をマスメディアからしか得られません。

その点、損得の掛かった株取引及び株価は、マスコミの影響のみに左右されず、シビアに政治家・政策を評価・判定していると云えます。トランプが大統領に再選され、市場はそれを評価しました。日本においては、石破総理誕生に嫌気して、株価は下がりました。米国は今後、減税・カーボンニュートラル脱却、国連軽視へと舵を切ります。日本と云えば、(防衛)増税、炭酸ガス0政策、国連重視と全く

正反対の政策を採るでしょう。どちらが、福の神で、どちらが貧乏神？

（前和歌山偕行会会長 奥野耕三）

編集後記

いよいよ冬を迎えます。暖冬の予報ですが、本会には高齢の方が多く、皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

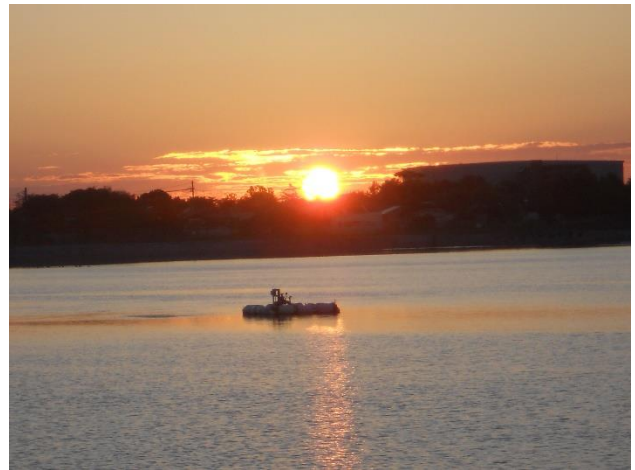
本年のご協力を感謝申し上げますと共に、御家族揃って素晴らしい新年をお迎え下さい。

来年もご協力の程よろしく願いたします。

【余白余談】

私事で恐縮ですが、女房が骨折入院中で、リハビリに励んでいる姿を見て一念発起、5時起きでのウォーキングを始めました。思わぬ拾い物で美しい日の出を拝むことが出来ました。その一景

（加賀本）



瑞ヶ池（伊丹市水道貯水池）の日の出

近 畿 偕 行 会

会 長 加賀本 昭雄

編集責任者 熊谷 勉

〒651-1513 神戸市鹿の子台北町3-1-4-201

Tel & Fax:078-952-3063

編集委員 加賀本 昭雄

〒664-0012 伊丹市緑ヶ丘2-97

Tel:072-785-8954